

報道関係者 各位

平成23年4月15日 日本科学未来館

## 日本科学未来館の活動について

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利衛、所在地:東京都江東区青海)は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、建物の安全は確認されておりますが、館内の展示や設備に大きな破損が生じたため、5月末まで臨時休館とさせていただきます。現在、6月1日(水)の開館を目指し、全力で館内の修繕と更なる安全性の確保に取り組んでおります。

館の復旧工事にあたり、地震発生直後の3月13日より大規模集客施設の安全性に関する研究等を行う、東京大学 生産技術研究所 川口健一教授との共同研究を行い、未来館の建物の揺れ、被害の様子を検証。そのうえで川口教授のアドバイスに基づき、「公共建築工事標準仕様書」以上の安全性の確保を目指して復旧工事をおこなっております。

### 日本科学未来館 開館日について

→平成23年6月1日(水) 10:00～の開館を予定しております。

※但し、電力事情やその他状況により、開館日、営業時間を変更する可能性があります。

※7F 交流施設は4月29日(金・祝)より利用を開始します。

### 企画展「メイキング・オブ・東京スカイツリー®」会期について

→平成23年6月11日(土)～10月2日(日)にて開催します。

### 「つながり」プロジェクト

→シンボル展示である地球ディスプレイ「Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)」は平成23年7月の公開を目指しております。  
地球観測データにアクセスできるインタラクティブボード「Geo-Scope(ジオ・スコープ)」は6月1日よりスタートします。

## 休館中の科学コミュニケーション活動について

未来館は国の科学館として、館の復興だけでなく社会に貢献できるよう、さまざまな科学コミュニケーション活動に取り組みます。大震災に関連した難解な科学技術情報に対し、未来館の科学コミュニケーターが的確な解説と双方向の対話を、下記4つの視点において活動・展開します。(具体的な活動内容は次頁参照)

### (1) 社会が求める科学技術情報に応えるためのQ&Aページ「未来館質問箱」設置

「今」知りたい科学技術情報のニーズを未来館ホームページより募り、科学コミュニケーターが科学的に、正確に伝わるよう整理して、情報を提供します。

### (2) 震災関連の情報をわかりやすく提供する「地震、原発をよみとく」開設

「地震・原発・放射線等関連情報発信ページ」を開設。日々の発表数値を見やすいように全国カラーマップなどに変換、および解説記事にして発信します。また、6月の開館以降も「未来設計会議」等のイベントで、震災関連の情報を発信していく予定です。

### (3) 直接対話できる場に出向くアウトリーチ活動

未来館の科学コミュニケーターが、学校・避難所などへ出向いて解説と対話を展開します。

### (4) 正確な情報を伝えるための「研究者とのネットワーク」活動

掲載内容は、研究機関や学会の専門家と連携協力により確認し、より正確な情報発信を行っています。

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL <a href="http://www.miraikan.jst.go.jp">http://www.miraikan.jst.go.jp</a>	日本科学未来館 事業推進課 プロモーション担当 ( <a href="mailto:press@miraikanjst.go.jp">press@miraikanjst.go.jp</a> ) 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

## [ 詳 細 ]

### (1) Q&Aページ「未来館質問箱」 <http://www.miraikan.jst.go.jp/linkage/qa/>

震災と科学技術に関する質問を募集し、多く寄せられた質問に科学コミュニケーターが科学的視点から回答します。

### (2) 震災関連ページ「地震、原発をよみとく」 <http://www.miraikan.jst.go.jp/linkage/quake2011/>

地震、津波、原発事故、放射性物質の科学的なよみとき方を提案します。日々の放射線量の分布マップなどをみることができます。

### (3) 直接対話できる場に出向くアウトリーチ活動

震災に関連するさまざまな科学技術に関する情報を、他の科学館や自治体などに未来館の科学コミュニケーターが出向き、ワークショップ形式で伝えます。また、被災者向けの学習支援活動として、避難所において子供たちを対象にした、実験教室も行います。

#### 「見てみよう 身のまわりの放射線」

放射線とはいったいどのようなものなのか、ワークショップを通じて親子で学びます。

見ることも触ることも難しい放射線を、放射線測定器「はかるくん」と、放射線の飛跡を見ることができる「霧箱」を使って観察します。

開催場所: つくばエキスポセンター <http://www.expocenter.or.jp/>  
千代田図書館 <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>  
杉並区立科学館 <http://www2.city.suginami.tokyo.jp/scied/index.asp>

対象: 親子(小学3年生～6年生とその保護者)

※各会場の開催日時、参加方法等は、未来館 HP をご確認ください。

#### 「今知っておきたい、放射線のABC」

健康や家庭生活に関わる放射線に対する正しい知識を、測定器や霧箱を使った実演を通して、科学コミュニケーターが分かりやすく解説します。

開催場所: つくばエキスポセンター <http://www.expocenter.or.jp/>  
杉並区立科学館 <http://www2.city.suginami.tokyo.jp/scied/index.asp>

対象: 高校生以上(子ども同伴可能)

※各会場の開催日時、参加方法等は、未来館 HP をご確認ください。

#### 被災者向け学習支援「実験教室 ロボット感覚系コース」

被災者向けの学習支援活動として、子供たちを対象にロボットに関する実験教室を行います。

開催場所: 東京ビックサイト 西展示棟 2階 西2商談室 4(予定)

開催日時: 平成23年4月16日(土) 10:00～12:00

対象: 小学4年生以上

※上記プログラムは、ご希望に応じて各所で実施いたします。詳細は下記担当へお問い合わせください。

日本科学未来館 施設運営課 インタープリター担当 TEL: 03-3570-9151(代表)

### (4) 正確な情報を伝えるための「研究者とのネットワーク」活動

未来館の取り組みのひとつでもある「研究者とのネットワーク形成活動」の成果を生かし、WEBサイトの掲載内容は、研究機関や学会の専門家と連携協力により迅速に確認し、より正確な情報発信を行っています。現時点で、日本地球惑星科学連合、日本放射線影響学会、日本医学放射線学会の監修協力を得ており、今後も各専門機関と連携し、科学情報を提供していきます。